

問 集落消滅の危機

答 市の特性を活かし対応

大上 正司 議員

問

現在、農林業だけで生計を立てる事は難しく、仕事もきつく若者は、農林業離れし、都市部へと流出、「耕作放棄」「森林の荒廃」が続き、集落の存続を危ぶむ声を聞く。農林業施策にもっともつと力を入れ、一反二反の農業でも一定の収入が得られるよう、特産品の開発、価格補償、農林業施設の維持管理に対する助成等の充実に図り、さらに農林業従事者が、サラリーマンのように土曜、日曜を休日とし就労出来るような宍粟市独自のシステムを創設し、若者に魅力を感じていただける労働環境整備を図り、宍粟市が持つ特性を活かし、集落が持つ価値観を見直しながら掘り起こす努力により、小集落消滅を防ぐ必要があると思えます。

市長

重要な課題であり、市の特性を活かしなが



JA兵庫西旬菜蔵

ら、農林業再生を目指し、若者に魅力を感じていただき残つてやろうとの意志を持っていただける施策の展開により、集落を支援し、守って行きたい。

問

地域情報化事業実施によるテレビ共聴施設撤去に助成をすべきと思うが、なぜ出来ないか。

企画部長

施設は58組合、約7000世帯が加入されている。施設は、旧町・NHK・集落ごとに整備され様々であるので、施設ごとの撤去が、公平と判断する。撤去に対するアドバイスは行いたいと考えているのでご理解を賜りたい。

問 緑税の有効活用は

答 地域の協力が第一

内海 利為 議員

問

県民緑税が導入された。宍粟市として活用の計画はありますか。

産業部長

災害に強い森づくりと、都市の緑化を支援する事業があります。宍粟市は災害に強い森づくりを計画しており、里山林の防災林整備が急務です。事業主体が県であり、事業実施については、所有者の了承、地元自治会の全面的協力が必要であり事業地が人家裏山に限定されている関係から多くの課題があると思いますが、今後、同事業のアピールに努め、事業実施に取り組みたく努力しているところです。

問

適材適所の人事異動を實施されておりですか。

副市長

人員配置の基本的な考えは市の行政規



平成16年23号台風による風倒木

模の中で人員配置をどのように行うかが大きな課題です。幅広い住民のニーズを、どの様に对应していくか、常に検討しているところです。職員数の削減が合併協議の中でうたわれ、その実現に努力する中、幅広い分野で対応をする人材が必要になっております。市民局、本庁業務の中で市民への対応が充分か、常に心掛けています。また、人材育成による職員の資質向上を図る職員研修に今後は積極的に取り組むと共に専門分野の必要性も充分考慮して今後も人員配置を検討していきたい。